

文教厚生視察

文教厚生委員長 南里 和幸



▲尾道市民病院にて

一日目は尾道市民病院での研修、地域医療の供給体制、中核病院としての使命、他の公立病院との連携、小児科診療、夜間救急医療など参考になりました。今後の問題として新医師研修制度の発足によって医師不足が今後の課題だとのことでした。次の日「マジメニハタラケ」という校訓の東

広島市立板城小学校を視察、地域に信頼される学校という目標も掲げ、教職員、PTA、学校評議員会、おやじの会などと連携、真に学校が活動する原動力になるよう、そして子供達が登校を楽しみにし全力を出しきろうという様子がとてもよくわかるような学校運営がされていました。

産業経済視察

産業経済委員長 西山 勝

去る8月24、25日の日程で茨城県結城市の農事組合法人宮崎協業と、また栃木県鹿沼市農業公社を産業経済委員14名で視察研修して参りました。

まず、組合法人宮崎協業につきましては、集落営農の概要については、設立は平成元年1月、1集落18戸の構成により農地面積約112ha。農業経営、農作業受託、地元農産物を材料とした加工品を製造販売して運営されていた。我が小城市においても佐城農協より農業政策の確立に関する請願書が提出され、平成19年度より始まります集落営農に関しての先進地視察研修のご報告と致します。



▲鹿沼市農業公社にて

深川家住宅

幅広い活用に向けて改修

国の登録有形文化財に指定されている深川家住宅（小城町）の改修費用として四百六十六万円が計上されました。

深川家住宅は、お茶会や展示会など文化的な催しに幅広く利用さ

れています。昨年九月二十一日の台風二十三号で被害をうけ、今もブルーシートに被われています。

県、市、所有者の負担で、今年度中に屋根の補修を行う予定です。



▲150年の歴史を持つ深川家住宅